

2020

同友しずおか 8

VOL.501

私の逸品

フォーマリー丸善

美しい伊豆の景観を活かした
ロケーションフォト



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体制の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会 3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体制をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営をやり安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒420-0857 静岡市駿河区藤原3丁目6-6F FAX/054-253-7820 E-mail/doyu@szdoyu.gr.jp

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1065 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
こばやし ちひろ 小林 千尋	(有)小林造園 建設業 (造園、修景工事の提案・設計・施工・管理)	富士宮	宇佐美健介
おの たけとし 小野 壮俊	オノケン材塗装(株) 塗装業 (焼付塗装)	静岡	望月 康平
たき つよし 滝 剛	(株)リエゾン 製造業 (化粧品製造)	静岡	大戸 利之
さかした しゅんすけ 坂下 俊介	甘蔵さかした 和菓子製造、卸、小売	榛南	河内 崇文
たなか かつや 田中 克也	(株)アールスタジオ 建築設計 (住宅の設計・施工)	浜松	江間 省豪

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

新型コロナウイルス感染症関連支援策等 リンク先一覧

新型コロナウイルス感染症の影響で資金繰り等でお困りの事業者の方へ

東海財務局HP内にて、県内での国、公的機関、金融機関及び地方公共団体の各支援策に係るリンク先一覧をご覧ください。右のQRコードよりぜひご覧ください。

(出典：東海財務局HP http://tokai.mof.go.jp/sizuoka/zimusyo_link_00001.htm)



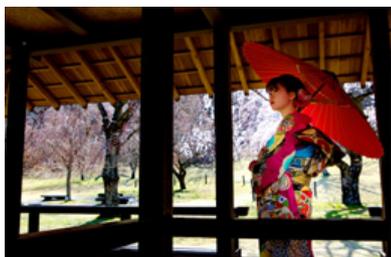


美しい伊豆の景観を活かした ロケーションフォト

フォーマリー丸善 (伊東支部)
代表取締役社長 木村 喜久司氏



木村 喜久司氏



フォーマリー丸善は、木村喜久司氏の父が1964年に、婚

松原大火をきっかけに店を継ぐことを決意

美しい海岸や高原、自然が創りだした様々な名所にあふれる伊東市にある貸衣装・写真店、フォーマリー丸善の木村喜久司氏を取材しました。



木村氏は、時代の変化に対応するため、貸衣装から着付け、美容、撮影まで1つの場所で行える総合サービスを始めました。

美しい伊豆地域の景観を活かしたロケーションフォト

当時の店舗が全焼。これをきっかけに脱サラし実家を継ぐことを決意。当時建てた自宅も売却し、現在の店舗を新しく構えました。当時は店を継ぐことについて、サラリーマンであったことから「商売人じゃないから無理だろう」と言われていたそうです。



今後の課題はウェブサイトの充実

出の記録や結婚式のオープンニングムービーとして撮影されるお客様が多いそうです。

さらには新しいプランとして、伊豆の名所である白浜や河津桜、伊豆高原、一碧湖の湖畔などをバックにウエディングドレスや振袖を着て撮影する「ロケーション撮影プラン」。伊豆ぐら

大手の写真館や地元で新たにできた施設に負けないため、新しいプランやパッケージを計画してきた木村氏。今の時代インターネットを通して情報収集するお客様が増えており、宣伝力で負けないよう、検索上位に上がるよう



フォーマリー丸善店舗外観

な魅力的なウェブサイトをづくり、に試行錯誤しているといえます。地元のお客様、また伊豆が好きで観光に来る県外のお客様に写真撮ってもらえるよう、木村氏の挑戦は今後も続きます。

取材・記事：鈴木 将大氏
(南東亜電気工業・伊東支部)

フォーマリー丸善

〒414-0026 伊東市竹の台5-19
TEL : 0557-37-2017
URL : <http://www.reception.co.jp/>

創業 1964年
社員数 2名
入会年月 2002年 8月
事業内容 貸衣装全般、写真撮影、美容、着付け

会員訪問記

地元密着の水道工事店

(株)榛南水道

代表取締役 池田 順一氏 (榛南支部)



池田 順一氏

牧之原市を中心として水道工事店を営む(株)榛南水道。現在に至るまでの経緯とこれから目指す会社の在り方をうかがいました。

小さいころから身近にある会社

(株)榛南水道の代表である池田順一氏は、当時父が経営している榛南水道工事店を小さいころから見

同友会と経営者

商工会青年部長を卒業後に、仲間の誘いもあり2011年に同友会に入会。入会当時はまだ専務という立場でしたが、父の体調不良もありいずれは経営を継いでいくという気持ちとともに同友会での学びにも変化が出てきました。

2017年に父が亡くなり、同時に代表取締役就任。同友会で時には厳しい指摘を受けた学びを一つずつ実践し会社を守る道を進んでいます。特に代表取締役に就任する前年に担当した例会報告「我が経営を語る」を通して、自分がこれから何をしなければいけない



かを明確にすることができたそうです。現在、第4委員会の委員長を務めて2年目になりますが、役員を受けることで経営に対する姿勢や普段の雰囲気なども大きく変化してきました。

地域に根差す水道工事

現在の業務内容は以前から変わらず、給排水衛生設備・上下水道の本管布設工事・一般住宅の上下水道配管設備・便器からユニットバス等の機器の設置等を主な生業としております。コロナ後も売上はほとんど変わらないと話す池田氏お客様のところへ何う職業とのこ

感にはより気をつけるようになつたそうです。指定工事店許可は6市1町を持つており、しっかりとしたサービスを行き届かせるためにも地元の業務に特に力を入れていくそうです。対応エリアや事業内容を拡大するのではなく、これからも地元のお客様に安心していただけるよう、地元密着の工事店であり続けると力強く語りました。

様々な苦労話も前向きに笑顔で話す池田氏から、誠



実さと親切心が感じられる取材でした。

取材・記事：萩 智理氏

(株)ラフト・榛南支部

取材・写真：河内 崇文氏
(株)スマートブレイン・榛南支部

(株)榛南水道

〒421-0523 牧之原市波津1737-1
TEL：0548-52-0769

設立 1991年

社員数 4名

入会年月 2011年9月

事業内容 給排水衛生設備、他配管工事一式

会員訪問記

優しく丁寧な製品づくりから生まれた
「しあわせのタダーマスク」

(株)原町加工紙
取締役専務 石塚 善昌氏 (沼津支部)



石塚善昌専務 (左)、石塚久美子社長 (右)

沼津市原でボックスティッシュ・ポケットティッシュ・印鑑拭き等の紙加工業を営む(株)原町加工紙。代表取締役社長の石塚久美子氏と沼津支部会員で取締役専務の石塚善昌氏にお話を伺いました。

(株)原町加工紙の歴史を振り返る

「(株)原町加工紙について語るには、(株)原町製紙所の存在がとてもし大きい」と石塚久美子氏は話し始めました。(株)原町製紙所は1900



年に曾祖父が創立。1958年大手航空会社用ティッシュペーパーの製品化や大手化粧品会社ティッシュペーパーの商品化に携わり、1964年には、ポケットティッシュを日本で初めて商品化しました。その後、1968年(株)原町製紙所よりポケットティッシュ部門を原町加工紙として独立。1972年4月に父親が(株)原町加工紙を設立、2000年に現在の(株)原町加工紙に組織変更したとき久美子氏が社長に就任。2004年には(株)原町製紙所の解散によりティッシュペーパー加工部門と販売部門を継承し、ボックスティッシュ工場を開設しました。

同友会沼津支部の取り組みで
新製品開発

同友会では、入会当初から異業

種の経営者から話を聞くことで非常に刺激を受けたと話します。昨年3月からは、沼津支部の有志が国立沼津工業高等学校校長の藤本晶氏に声掛けして始まった研修会「藤本塾」に参加。講義の題材は「ティッシュペーパーのやわらかさを題材とした感性工学」。月一回の研修では参加者から集めたワードからティッシュペーパーのサンプルを準備し先生が評価をグラフ化。同社が開発したティッシュが高評価を得て「幸せのマシマロティッシュ」と命名した新商品の販売に繋がりました。

しあわせのタダーマスク

新型コロナウイルスにより取引先のホテル業界の客数が激減し、4月頃から前年比で大幅に売上が減少。今後もどうなるか不安だと言います。そのような状況の中で毎朝本社近くのドラッグストアでもマスクを求め行列ができる様子を目の当たりにしました。「並んでもマスクが手に入らない人のためになれば」とティッシュを使ったマスクを一つひとつ手作りで製作し「しあわせのタダーマスク」として会社の敷地内で無料配布。その様子はメディア等にも取り上げられ、コロナ禍で厳しい状況においても地域の人々の笑顔があふれる場となりました。この取り組みは、経営理念に掲げる「私たちはいつもお客様の喜ぶ顔



しあわせのタダーマスク

を思い浮かべて、優しく丁寧な製品づくりをしていきます」の実践であると感じました。
取材・記事：大場 豪文氏
(株)文豪社・沼津支部

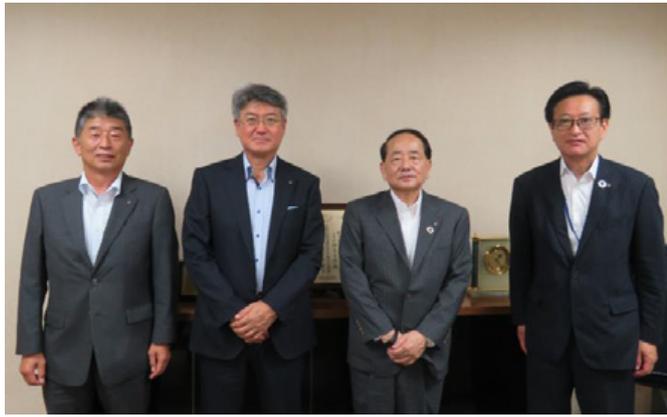
(株)原町加工紙
〒410-0312 沼津市原1058-2
TEL：055-966-6611

設立 1972年4月
社員数 32名 (パート含む)
入会年月 1998年1月
事業内容 ボックスティッシュ・ポケットティッシュ・印鑑拭き等の紙加工業

中小企業等支援に関する包括連携協定を

～佐藤理事長・小泉常務理事を表敬訪問～

静清信用金庫と締結



青山副代表 井上代表理事 佐藤理事長 小泉常務理事

静岡同友会は金融機関2例目となる包括連携協定を、7月1日、静岡市に本店をおく「静清信用金庫」と取り交わし、締結しました。

本協定は、中小企業の抱える経営上の各種課題の解決と地域の中小企業の発展を支援し地域経済を活性化させることを、また相互連携し、中小企業の活動を支援することを目的とし

ているものです。目的の達成にむけて、(1)中小企業等への情報の提供、(2)相互の研修等への参加、講師派遣、(3)地域における経済情報、動向等に関する情報交換、(4)個別企業からの相談対応、(5)その他中小企業等への支援に寄与する事項、の5点を掲げています。

過日7月15日(水)には、静清信用金庫の佐藤理事長、小泉常務理事、山口経営相談部長のもとへ、井上代表理事(ワシロック工業株)、青山副代表理事(株青山建材工業)、秋山事務局長が訪問しました。

懇談では、新型コロナウイルス感染による地域企業への影響や今後の見通し、双方の活動や取り組みについて意見交換を行いました。佐藤理事長からは「同友会の中小企業・小規模企業の会員皆様にむけて、有益な情報提供や経営支援を進めていきたい」とお話しいただきました。本協定をもとにした今後の具体的な取り組みについても

話しあい、山口経営相談部長からは、同金庫も参画する「Big Advance(全国の金融機関が連携し、地域の中小企業の成長を支援するプラットフォーム。全国規模のビジネスマッチングや会社ホームページの作成、従業員向けの福利厚生サービスなど幅広いサービス提供)」や、同金庫が積極的に取り組まれている「SDGs(持続可能な開発目標)」を企業経営に取り入れている事例、セミナー企画などを紹介いただきました。

これまで静岡同友会は、教育機関では2008年の国立大学法人静岡大学と「相互協力協定」を、また金融機関では2019年3月に当時の島田信用金庫(現島田掛川信用金庫)と「中小企業等支援に関する包括連携協定」を締結しています。

中同協第52回定時総会をオンラインで開催

7月14日(火) ZOOM

7月14日「いまこそ難局を乗り越え、未来を創造する主体者として躍進しよう」をスローガンに、中同協第52回定時総会がオンラインで開催されました。代議員は47同友会と中同協から51名、ほか各同友会からオブザーバー参加が多数ありました。冒頭、主催者を代表して広浜泰久・中同協会会長より「コロナ禍のもとで政策要望・提言を発信しているが、自助努力があつてこそ、いざという時に支援を求められることができる。自社の存在に自覚と誇りを持つて活動に取り組もう」とあいさつがあり、続いて中小企業庁や各政党・各界からのメッセージが紹介されました。議案はすべて可決され、「コロナ禍をのりこえ、視座高く変化に対応しよう」中小企業の維持・存続こそ経済・社会の支え」との総会宣言が読み上げられました。

本総会の「会長挨拶・議案提案」の部分は中同協の公式YouTubeチャンネルにアップされています。ぜひご覧ください。

静清信用金庫

理事長 佐藤徳則(敬称略)

所在地 静岡市葵区昭和町2の1

創立 1922(大正11)年3月11日

URL <https://www.seishin-shinkin.co.jp/>



中同協定時総会
会長挨拶・議案提案
YouTube 動画

第17期経営指針を創る会 開講

外部環境が激変する今こそ自社の在り方を見つめ直す

7月30日(木) ペガサート&ZOOM

経営理念・10年ビジョン・方針・計画の4要素で構成する経営指針書を成文化する活動、経営指針を創る会が開講しました。今期は9名の受講生が参加しています。第1講は、まず受講生より自社の現状や歴史を紹介。その後「経営者の責任、社員との向き合い方」をテーマに修了生を交えグループ討論を行ない、終了しました。

今期は全11講、今後も自社事業分析、内部環境・外部環境分析、事業戦略などを記入する課題シートを活用し、経営指針書の作成を進めていきます。

受講生2名から今後に向けた意気込みを頂きましたのでご紹介します。

今だからこそ指針作成を決意

今年度は新型コロナウイルスの影響でZOOMと対面を併用して開催。試行錯誤の中、進行していただけるスタッフの皆様へ感謝申し上げます。重

要度は極めて高いですが、優先度が低くなってしまっていた経営指針の明文化。コロナ渦だからこそ大事だと考え参加を決断しました。課題シートを作成し、他業種の方と意見交換することにより自社の強み・弱みが見えてくることを感じた第1講でした。同期生9名と切磋琢磨しながら実りある8ヶ月にしていきます。

大畑勝慶氏

(駿遠三菱自動車販売(株)・志太支部)

明るい未来を信じて!! 初めの一步

経営指針を創る会に初参加。経営者としての覚悟や社内の諸問題などを整理したい、より良い会社づくりのためにすべきことを学びたいと思っていたところ、浜松支部の仲間が背中を押してくれました。が、正直参加表明するまでにかかなり勇気が必要でした。先輩方から「社員さんとの共感」「全てに対して謙虚であれ」また「原点は人である」などの話を聞いて心の中で



創る会修了生の皆様へ

創る会は議論を通して、経営指針書の作成と実践の検証をする機会となります。第1期からの修了生の皆様もぜひご参加頂き、経営指針の実践を検証していきましょう!

「その通り!!」と思わず声が出そうになりました。ですが、その一方で「問題がなくなることはない。ずっと続くものだ」と捉えて学び続けること、実践し続けることが大切なのだ」という言葉聞き、改めて身の引き締まった時間でした。

白井喜久美氏

(エテルナ運送(株)・浜松支部)

7月イントロセミナー 「お知り合いの経営者をお誘いください!!」 7月30日(木)

7月30日(木)に同友会会議室とZOOM併用にてイントロセミナーを開催。会場5名、ZOOM16名と静岡支部はじめ沼津支部など4支部から参加がありました。

奥谷卓史氏(㈱巴電業社・静岡支部)

は、これまでの同友会での学びと自社の歩みを報告。会場で参加したオプザーバーからは「コロナをきっかけに悩むことが多くなった。1人では解決できないことも多く、今回参加したことと多くのヒントが得られた」との感想と共に入会の宣言も頂きました。

コロナをきっかけにこれまで見えなかった経営課題が明確になり、どこかで学びたいと感じている経営者が増えていると組織増強委員会でも共有されています。こんな時代だからこそ同友会で共に学び、突破のヒントを探していきましょう。

8月のイントロセミナーは8月28日(金)に開催します!引き続きZOOMでの参加も可能です。ぜひ、オプザーバーの方と一緒にご参加ください!

8月・9月

DOYU CALENDAR

8月16日(日)～9月15日(火)

8月 19日(水)	沼津例会・グループ長研修 (18:45 ZOOM) 志太例会 (18:30 小杉苑&ZOOM)
20日(木)	富士例会 (19:00 富士商工会議所&ZOOM) 中遠例会 (19:00 ZOOM)
21日(金)	榛南例会 (19:00 牧之原市商工会&ZOOM)
25日(火)	第17期経営指針を創る会 第3講 (19:00 ペガサート&ZOOM)
26日(水)	県理事会 (15:00 事務局&ZOOM) 県例会企画委員会 (18:00 ZOOM)
28日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」 (19:00 事務局&ZOOM)
29日(土)	静岡共学ゼミ (14:00 かまくら文庫&ZOOM)

9月 7日(月)	女性経営者交流会 (18:30 事務局&ZOOM)
8日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート&ZOOM (予定))
9日(水)	正副代表理事会 (15:00 事務局&ZOOM) 御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア)
11日(金)	第17期経営指針を創る会 第4講 (19:00 ペガサート&ZOOM) 富士宮例会 (19:00 志ほ川&ZOOM)



《あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください》

公式YouTubeチャンネル 動画配信中！



←ココからチェック！

公開中！

会員経営者のここでしか聞けない

生の経営体験報告！

第1回	(株)青山建材工業	青山達弘氏 (県副代表理事)
第2回	(株)アサギリ	簗威頼氏 (県副代表理事)
第3回	松葉倉庫(株)	松葉秀介氏 (県副代表理事)
第4回	(有)日本スエーデン	山本健二氏 (経営指針を創る会会長)
第5回	(有)リアス	増田崇氏 (県経営労働委員長)
第6回	(有)塚本商店	塚本和成氏 (県青年部会長)
第7回	(有)島村歯車製作所	桑崎雅人氏 (県副代表理事)

静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください！

